



ぐっどらんど 竣工式 6/7(金)



新しいぐっどらんど

あゆみの家

No. 120号

ボーマンホール

あゆみの家の敷地内に昨年(二〇一八年)九月完成した新しい「自由館」は、翌一〇月から使用が始まり九ヶ月が経ちました。

旧自由館の一階にあったデイセンターあゆみの家の食堂は狭くて、昼食には靴を履き替え、雨の日は傘をさして移動しなければならなかったなどから、随分以前から建て替えの希望が出されていました。新しい食堂は広くて明るい環境に変わり、移動も容易になり、最大七〇名の人たちが快適に昼食を摂ることができるようになりました。

この新しい「自由館」は前述の食堂だけでなく、本部事務所、相談室、打合室、緊急時の宿泊室、浴室、調理室、災害時の備蓄倉庫、会議室、研修室など様々な機能を備えた建物となっています。会議室と研修室はスライド式の間仕切りを移動すると一つの大きな部屋になり、一〇〇名以上を収容できます。ここは特別に「ボーマンホール」と呼んでいます。あゆみの家の創設者であるジョン・ボーマン先生を記念して名付けられました。まもなく一年を迎えようとしている中で、それぞれの設備がその機能を發揮し始め、新しい自由館ができたことへの有り難さを口々実感できるようになりました。

例えば、ボーマンホールでは、法人全体の合同職員研修会やあゆみの家保護者会の総会などが開かれてきました。間仕切りが有るときは会議室として使用されることが多く、法人内の各事業所職員で構成される様々な委員会をはじめ、運営委員会やケース検討会議さらには理事会、評議員会なども開催されています。最近では、去る四月からスタートした不破郡・養老郡障がい者自立支援協議会の全体会や専門部会がこのボーマンホールを会場として実施されています。

あゆみの家を立ち上げ、その礎を築いて下さったボーマン先生のことを思い起こしながら、これからも利用者の方々の生活やはたらくことの充実を目指した取り組みが展開されていくことを願っています。

「朝毎の礼拝」

理事 齋藤幸二



あゆみの家では設立の時から毎週月曜日から金曜日まで朝毎の礼拝が守られてきました。私も一九九五年に初めてあゆみの家を訪れた日、第二あゆみの家の食堂で礼拝でのお話をしたことを覚えています。その時は食堂の壁の大理石の壁画「迷子の子羊」をもとにお話しました。

クリスチャンの職員数は限られているので、ボランティアの方々の協力もいただいています。毎日の礼拝を続けることは大変なことだと思います。それでも第二あゆみの家とデイセンターあゆみの家での礼拝は休むことなく続けられてきました。他の施設でも職員での礼拝をおこなっているところもあります。そして素晴らしいことに、利用者の方たちも職員の方々も礼拝の時をとて大切にしてくださいっています。

毎朝の礼拝で私たちはこの世界の価値観を超えてすべての人を大切にしてください。さる神の愛と祝福の言葉を聞きます。また神様だけが与えてくださるいのちの希望の言葉を

聞きます。礼拝は「うした神の言葉を聞くこと」によって「天からの暖かい、清らかな光」を受けるときになります。あゆみの人たちはその一日を神が与えてくださる安心と平和の内に過ごすのです。

礼拝は利用者たちのためだけのものではありません。職員も利用者も一緒に神に心を向けることにより、皆が同じように神から大切にされている一人一人であることを覚えます。利用者、職員という立場を超えてお互いを尊重し合うべきことをそこで確認するのです。

人間一人一人に尊厳があり、どのような人も尊重しなければならぬことはだれもが知っています。しかしその根拠は人間の考えではなく、天地を創造された神の言葉にあるのです。礼拝はこの神の言葉を一緒に聞き、受け取る大切な時なのです。あゆみの家の大切な財産である礼拝が、これからも大切にされ、続けられていくよう願っています。



「不破郡・養老郡障がい者基幹相談支援センター

ゆうネット」

相談支援専門員 柳 葉子

今年の四月より、養老町と垂井町、関ヶ原町の3町合同で基幹相談支援センターが立ち上げられ、「相談支援事業所ゆう」が運営を受託することとなりました。同センターの名称は「ゆうネット」です。これにより、「相談支援事業所ゆう」は、①計画相談、②委託相談支援、③基幹相談支援センターの相談支援体制で新たにスタートすることになりました。

「基幹相談支援センターは、何をやるの？」と聞かれます。基幹相談支援センターの役割は「図1「基幹相談支援センターの役割のイメージ」のようにあります。ゆうネットは、その中の「地域の相談支援体制強化の取組」を中心として業務を行います。不破郡・養老郡においては、利用者や家族、関係機関からの相談は、これまでどおり計画相談や障害者相談支援事業が行います。

相談支援専門員は、色々な人達と関わり、ご本人の生活ニーズを中心とした相談支援を行うため、相談内容も多岐に渡ります。そこには、個々では解決できない地域全体の課題も多く出てきます。この地域の課題をどう解決していくかが、ご本人のニーズ実現にはとても重要になってきます。今までは、こうした様々な地域の課題を共有して協議する仕組みを活用しきれず、課題のまま終わってしまうことやご本人の声が届かない現状もあります。

基幹相談支援センターの設置により、“行政も一緒に考えてくれる”という強みができ、地域に視点を置いていてるので、ご本人やご家族が生活している地域の一人ひとりの力を集結していくことができ、我が事として考えられる機会ができます。ゆうネットの相談支援専門員として、行政や地域の皆様と協

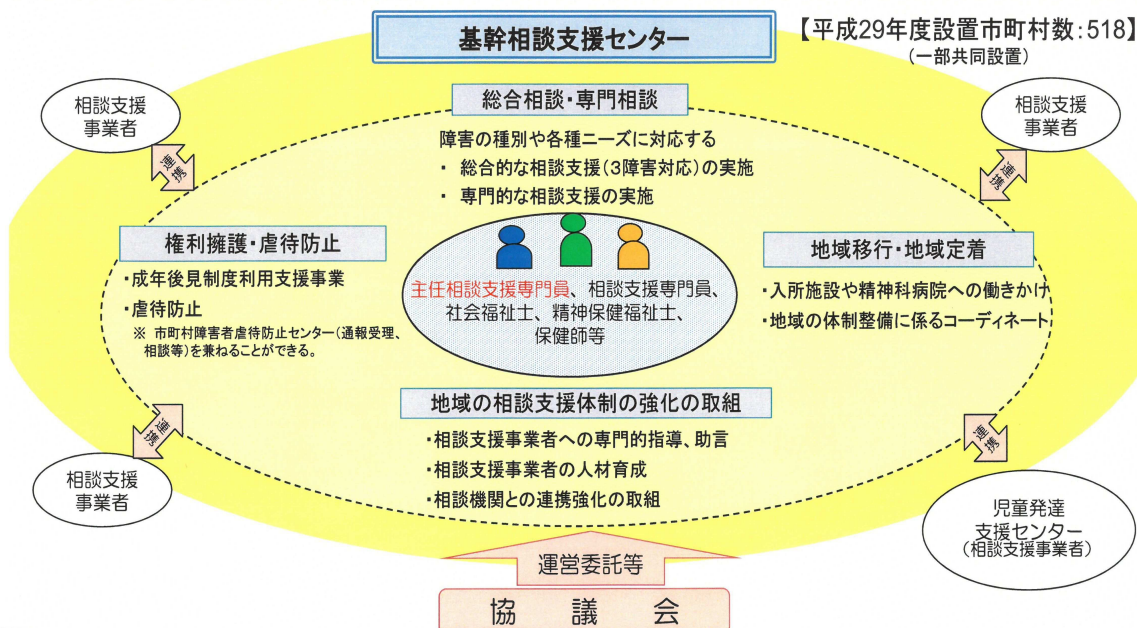
【図1】平成31年1月18日全国厚生労働関係部局長会議資料より

基幹相談支援センターの役割のイメージ

基幹相談支援センターは、地域の相談支援の拠点として総合的な相談業務（身体障害・知的障害・精神障害）及び成年後見制度利用支援事業を実施し、地域の実情に応じて以下の業務を行う。

※ 平成24年度予算において、地域生活支援事業費補助金により、基幹相談支援センターの機能強化を図るための、①専門的職員の配置、②地域移行・地域定着の取組、③地域の相談支援体制の強化の取組に係る事業費について、国庫補助対象とした。

また、社会福祉施設等施設整備費補助金等により、施設整備費について国庫補助対象とした。



働いて、ご本人やご家族が笑顔で生活し続けられる地域を目指して努力していきます。

別庄ホーム

―フェンスに込められた思い―

きずな2006 生活支援員 古川 泰宏

五月初旬、養老町に待望の別庄ホームが開所しました。七名定員で短期入所二名の新築の広いグループホームです。レンガ造りを思わせる外観に敷地をぐるっとフェンスが囲っています。その理由は…

「山が近いから、イノシシよけ？」

「一段高くなってるから、落ちないように？」

など、いろいろ予測していただけたと思います。今回はそのフェンスにまつわるエピソードをお届けします。

新しくグループホームを作る上で、地区の方々へのご挨拶と説明会を行いました。別庄地区の方々には、長年にわたり、利用者さんの行方不明の捜索や行事などでも大変お世話になってきました。説明会でもホーム建設についてご理解いただき、この土地に長年住まわれていた安井さんのお人柄もあって、温かく迎えていただきました。自治会に加入させていただき、集会所のトイレ掃除を担当でさせていただくことになりました。地区の一員として、ホームみんなで頑張つてやろつと今から燃えています。

そんな中、ひとつだけ地区の方々からお願いされたことがあります。それは「ホームの前の県道は、交通量が多く、養老スマートICができてからは、トラックも多い。事故だけはないようにしてほしい。」ということでした。事業所としても安全対策としてホームの周りにフェンスと、玄関に続くスロープの



別庄ホーム竣工式(4月26日)



別庄ホーム外観

途中には開閉できる門扉を設置しました。室内にも玄関先で音が鳴る設備をつけることとなりました。内覧会や回覧板でも地区の方に見ていただきました。ホームは利用者の方にとっては「家」ですので、複雑な思いもあります。しかし、「利用者さん、地区の方々の方々の安全を守る」という視点では必要なものだと考えます。ここにホームを彩るお花などをプランターに植えてくださる地域のボランティアさんをお願いしようと思っています。

利用者の方々も日を重ねることに新しいホームに慣れ、安心して庭からの景色を楽しまれています。グループホームに与えられた役割はたくさんありますが、地域の皆さんに見守っていただきながら、地域の方に貢献できるホームとなっていきたいと思っています。

新ぐっどらんど始動！

ぐっどらんど 所長 大原 里美

二〇〇〇年四月ぐっどらんどがデイセンターあゆみの家の分場として、また、すまいるらんども二〇〇四年八月に同じく分場として活動をはじめました。両事業所建物はバリアフリーではなかったため、日々怪我や事故の無いように利用者のみなさんに気をつけてもらえらるよう伝え、また職員間でもかなり配慮を重ねてきました。

いずれも賃借の古い建物で設備は不十分でしたが、仲間達は不便さを物ともせず、生き生きと活動に取り組んできました。安心して活動できる環境をと新たな建物の建設が長年熱望されていましたが、その願いはなかなか叶うことがありませんでした。しかし、昨年夏、新たな建物が建設されることが決まり、約半年を経て、今こうして新ぐっどらんどなどの建物が建設されました。この機会にぐっどらんど・すまいるらんどなどの統合により両事業所の課題が大きく改善され、こうして、六月七日無事に竣工式を迎えられたことは仲間達や保護者の方々、職員にとっても大きな喜びとなりました。

仲間達の豊かな地域生活を送るために『働く喜び・楽しみ』をたくさん経験できる場となる事を目指してこれからもぐっどらんどなどの活動に取り組んでいきたいと思えます。



宿泊室



クッキー作り



作業風景（１Ｆ）



クッキーなどの店舗



みんなで昼食タイム



作業風景（２Ｆ）

出来事ピックアップ



林町デイセンター (5 / 21)
アート教室



きずな2006 (4 / 22)
防災訓練煙体験



デイセンターあゆみの家 (5 / 27)
サツマイモの苗植え



林町デイセンター (5 / 23)
一日外出 ローザンベリー多和田



第二あゆみの家 (6 / 7)
やなぎグループ モレラ外出



ぐっどらんど (5 / 31)
福井赤レンガ倉庫 日帰り旅行

2019(平成31)年 3月31日現在

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
	決 算 額		決 算 額
流動資産	606,933	流動負債	153,737
固定資産	1,652,494	固定負債	46,944
基本財産	981,349	負 債 の 部 合 計	200,681
その他の固定資産	671,145	純 資 産 の 部	
		基本金	247,662
		国庫補助金等特別積立金	262,658
		その他の積立金	518,841
		次期繰越活動増減差額	1,029,585
		純 資 産 の 部 合 計	2,058,746
資 産 の 部 合 計	2,259,427	負債及び純資産の部合計	2,259,427

社会福祉法人あゆみの家
二〇一八（平成三〇）年度
決算報告

社会福祉法人あゆみの家では、二〇一九年六月一五日、定時評議員会が開催され、二〇一八年度決算が承認されました。その決算内容を報告いたします。

二〇一八年度は、自由館、ぐっどらんの建て替えをすることができました。

一年を通して各施設・事業所の活動が滞りなく実施できましたこと、皆様のお祈りとご支援に感謝申し上げます。

(自) 平成30年 4月 1日 (至) 平成31年 3月31日

社会福祉法人あゆみの家

		本部会計	デｲﾝﾀｰあゆみ	第二あゆみの家	おおぞら	きずな２００６	移動支援事業	相談支援事業	林町デイセンター	ぐっどらんど	就業・生活支援	合 計
			124,713,369	278,379,605	9,117,600	155,029,856	2,647,720	14,998,910	75,224,483	67,779,960		727,890,963
サ ー ス	障害福祉サービス等事業収益		366,125		867,400				64,800		35,441,488	36,739,813
	その他の事業収益											17,177,886
	経常経費等附加金収益	16,978,886	55,000	57,000		43,000			20,000	24,000		
ビ ス ネ ス	サービス活動収益計(1)	16,978,886	125,134,494	278,436,605	9,984,460	155,072,856	2,647,720	14,998,910	75,309,283	67,803,960	35,441,488	781,808,662
費 用	人件費	1,392,000	85,233,406	175,090,359	18,363,575	105,272,156		15,864,796	44,578,673	45,457,852	28,401,315	519,654,142
	事業費		11,786,700	28,230,161	338,984	19,771,478		142,854	4,660,750	16,824,828	11,232	81,766,987
動 増	事務費	1,963,535	16,942,492	28,193,563	1,006,401	12,588,327		1,079,182	3,578,090	9,062,648	5,712,432	80,126,670
	減価償却費		9,870,128	10,610,978	287,757	5,429,877		351,171	3,137,262	2,635,135		32,322,308
減 部	国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 4,443,394	△ 3,472,117		△ 635,625			△ 2,598,000	△ 1,409,350		△ 12,558,486
	サービス活動費用計(2)	3,355,535	119,389,332	238,652,954	19,996,717	142,426,213	0	17,438,003	53,356,775	72,571,113	34,124,979	701,311,621
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	13,623,351	5,745,162	39,783,651	△ 10,012,257	12,646,643	2,647,720	△ 2,439,093	21,952,508	△ 4,767,153	1,316,509	80,497,041
サ ー ス	受取利息配当金収益	6,741	10,782	36,645	26	4,631		10	32	1,042	940	91
ビ ス	有価証券評価益											0
	有価証券売却益											0
活 動	その他のサービス活動外収益	939,923	802,534	2,220,403		986,040		715,000	79,185	7,604,997		13,348,082
	サービス活動外収益計(4)	946,664	813,316	2,257,048	26	990,671	10	715,032	80,227	7,605,937	91	13,409,022
増 外	支払利息											0
	有価証券評価損											0
費 用	有価証券売却損											0
	投資有価証券評価損											0
の 部	サービス活動外費用計(5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	946,664	813,316	2,257,048	26	990,671	10	715,032	80,227	7,605,937	91	13,409,022
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	14,570,015	6,558,478	42,040,699	△ 10,012,231	13,637,314	2,647,730	△ 1,724,061	22,032,735	2,838,784	1,316,600	93,906,063
	施設整備等補助金収益		4,037,000							108,200,000		112,237,000
	サービス区分間繰入金収益		87,000,000	2,000,000	10,750,000			4,000,000		141,770,000		245,520,000
特 別	拠点区分間繰入金収益										870,000	870,000
	その他の特別収益						6,280					6,280
	特別収益計(8)	0	91,037,000	2,000,000	10,750,000	0	6,280	4,000,000	0	249,970,000	870,000	358,633,280
増 減	固定資産売却損・処分損		581,072	186,573						11,761		779,406
	固定資産除却・廃棄費用			1,907,320		3,078,000						4,985,320
の 部	国庫補助金等特別積立金積立額		4,037,000							108,200,000		112,237,000
	拠点区分間繰入金費用			870,000								870,000
	サービス区分間繰入金費用	10,000,000		232,770,000			2,750,000					245,520,000
	特別費用計(9)	10,000,000	4,618,072	235,733,893	0	3,078,000	2,750,000	0	0	108,211,761	0	364,391,726
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 10,000,000	86,418,928	△ 233,733,893	10,750,000	△ 3,078,000	△ 2,743,720	4,000,000	0	141,758,239	870,000	△ 5,758,446
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	4,570,015	92,977,406	△ 191,693,194	737,769	10,559,314	△ 95,990	2,275,939	22,032,735	144,597,023	2,186,600	88,147,617
繰 越 活 動 部 増 減	前期繰越活動増減差額(12)	133,991,780	128,136,895	180,804,751	2,563,539	217,650,988	391,642	5,379,271	112,811,341	115,229,071	22,477,567	919,439,845
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	138,561,795	221,114,301	△ 10,888,443	3,301,308	228,210,302	295,652	7,655,210	134,844,076	259,826,094	24,664,167	1,007,584,462
	基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	22,000,000	0	0	0	0	0	0	0	22,000,000
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	138,561,795	221,114,301	11,111,557	3,301,308	228,210,302	295,652	7,655,210	134,844,076	259,826,094	24,664,167	1,029,584,462

行事予定

10/12(土) あゆみの家祭

最近のできごと (4/1~6/30)

- 4/6 (土) 創立記念行事
 4/21 (日) イースター (第二あゆみの家)
 4/22 (月) 防災訓練 煙体験 (きずな2006)
 4/26 (金) 別荘ホーム竣工式 (きずな2006)
 4/26 (金) ボランティア (小倉宗さん) による
 絵画教室 (林町デイセンター)
 4/27 (土) 別荘ホーム内覧会 (きずな2006)
 5/2 (木) 岩手ホームから別荘ホームへ引っ越し
 (きずな2006)
 5/18 (土) 料理教室 (第二あゆみの家)
 5/27 (月) さつまいもの苗植え
 (デイセンターあゆみの家)
 5/28 (火) 第一回就労・雇用支援部会
 (西濃障がい者就業・生活支援センター)
 5/30 (木) 垂井東小缶回収説明会
 (デイセンターあゆみの家)
 5/30 (木) 大垣女子短期大学学生による演奏会
 (林町デイセンター)
 5/31 (金) ドリームG, とうだいまえ日帰り旅行
 (ぐっどらんど)
 6/7 (金) ぐっどらんど竣工式
 6/10 (月) 御嵩町あゆみ館より見学者 18 名
 (きずな2006)
 6/11 (火) 綾里幼保園交流 (ぐっどらんど)

ふれあい交流(4/1~6/30)

延べ: 1回 11人

<学校名>

あいほら小学校

ボランティア(4/1~6/30)

延べ: 32回 15人

(団体: 2回8人・個人: 30回7人)

<ボランティア団体名、学校名> ※順不同

OS アンサンブル・養老赤十字奉仕団

大垣女子短期大学

あゆみの家バザーの会計報告と御礼

4月19日、20日の両日、垂井町文化会館で行われたバザーについてご報告をします。

総売上げ額 1, 093, 677円

皆様方の御働きとご協力に心より御礼申し上げます。これからも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



6/14 郡上街散策 グッディG、ホープG
ぐっどらんど

編集後記

今年の秋頃の予定であゆみの家の職員駐車場が完成します。場所はデイセンターあゆみの家、自由館の南側です。その土地の地権者や周辺の方々に何度も足を運んでいただき、あゆみの家の駐車場予定地についての説明会をさせていただきました。先祖代々の大切な土地を、あゆみの家のために売却していただきました。地権者の方々のご理解に本当に感謝です。この職員駐車場を大切に使用していきたいと思います。また、「あゆみの家」は様々な方のご支援によって成り立っていることを改めて覚えました。感謝です。(伊藤)

編集: 社会福祉法人あゆみの家

〒503-2123 岐阜県不破郡垂井町栗原 2066-2

Tel 0584-22-4333 (代) FAX 0584-22-4344

URL <http://www.mirai.ne.jp/~ayumi>E-mail ay464h@he.mirai.ne.jp

グループホームのご案内

●あゆみホーム

Tel 0584-82-3056

●めぐみホーム

Tel 0584-22-3712

●東神田ホーム

Tel 0584-22-2264

●別荘ホーム

Tel 0584-34-3811

●養老公園ホーム

Tel 0584-34-3170

●青柳ホーム

Tel 0584-89-6231

●綾野ホーム

Tel 0584-92-2405

●表佐ホーム

Tel 0584-23-3305

●習南ホーム

Tel 0584-22-5079

●あいかわホーム

Tel 0584-23-0822

第二あゆみの家 〒503-2123 岐阜県不破郡垂井町栗原2034-1 / TEL 0584-84-7171